

「東区ささえあいプラン」

アクションプラン進捗状況

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号： 1-1-1(2-2-1)	主な取組： 日常生活圏域単位での 地域包括ケア推進会議（協議体）
事業概要	校区あるいはささえりあ圏域毎に、地域課題の整理と解決策の検討を行う。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 校区あるいは各ささえりあ圏域毎に、自治会長や民生委員、医療・福祉の専門職などで構成された会議を年1～4回程度開催し、地域での活動状況の共有や課題に関する意見交換を実施。福祉課と一部まちづくりセンターが出席。 【平成30年度の取組状況】 まちづくり担当実務者連絡会を立ち上げ、日頃からの情報共有を図るとともに、協議体を「まちづくりについて住民と継続的に協議する場」と位置付け、まちづくりセンター、保健子ども課、福祉課の三課から出席。地域からも課題の深掘り、具体策の検討を行うために、校区単位で開催する動きが生じている。（健軍校区座談会、託麻北校区民生委員を助けるワークショップ）	
課題	会議の趣旨が委員に浸透していない。 現在の体制では地域課題の深掘りや具体策の検討は難しく、委員の再考や地域の中での当会議の位置付けに関する検討が必要。 また、各課のまちづくり担当実務者の連携が必要。	
今後の展開・方針	○まちづくり担当実務者連絡会の定期開催 ○必要に応じて委員の再考 ○ささえりあの生活支援コーディネーターとともに、協議体の内容について検討し、 ・地域課題の共有 ・地域資源（自治会等の地域活動、サロン等の通いの場、医療機関や事業所等相談窓口）の一覧化 ・生活支援（例：家事援助、移動支援等）の拡充や通いの場の創出 など、自主自立のまちづくりを推進する。	
まちづくり推進事業との関連	有 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号： 1-1-2(2-2-2)	主な取組：課題検討型地域ケア個別会議 および地域ケア会議（校区単位）
事業概要	個別ケースの課題検討・分析を重ねることで、地域に共通した課題を明確にする。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 個別ケースの対応方針に関する検討が主で、地域課題の抽出等を行っていなかった。一部の校区では、社会資源の把握など地域ケア計画の見直し等を行った。 【平成30年度の取組状況】 ささえりあを中心に地域課題の抽出を意識しつつ、個別ケースの検討を実施。抽出した課題は協議体での検討事項に反映する予定。	
課題	これまで感覚的に取り組んできた部分であり、各ささえりあ毎にその手法にも差異がある。今後は手法や進捗、抽出された課題を共有しながら、精度向上が必要。	
今後の展開・方針	個別ケースの課題解決機能の向上とネットワークづくりを推進する。また把握した地域課題は協議体の場で共有、検討を進める流れが定着することをめざす。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名：保健子ども課	整理番号：1-1-3(3-4-1)	主な取組：健康まちづくり 関係機関との協働による地域における啓発活動
事業概要	住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりのため、健康（生活習慣病予防等）をテーマにまちづくりに取り組む。 地域や関係機関と健康課題やめざす姿を共有し、地域の特色や強みを生かした健康まちづくり活動。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ○健康まちづくり ・地域組織のリーダー等への健康まちづくりの働きかけ 80回/1,000名 ・健康講座等の取組み 50回/3,111名 ・健康まちづくり推進員養成 21名 【平成30年度の取組状況】（7月末現在） ○健康まちづくり ・「東区ささえあいプラン」の地域説明や健康講座・健康イベント等の具体的な取組みを校区単位あるいはまちづくりセンター単位で実施する - あさひば市民のつどい（11/25予定） ・健康講座等の取組み 3回/238名 ・健康ボランティアの養成及び活動支援 ○関係機関との協働による地域における啓発活動 ・各ボランティア等との協働による啓発活動実施中 ・区民まつりボランティア健康ブースでの糖尿病の予防啓発（9/23予定）	
課題	・生活習慣病予防を働き盛り世代を中心に展開したいと考えるが、ターゲット世代を対象としたイベント自体が少なく、地域の既存事業の中での実施が難しい。 ・校区単位での単発での事業ではなく、地域（PTA、青少協等）、まちづくりセンターと協働して戦略的に取り組む必要がある。	
今後の展開・方針	・「東区ささえあいプラン」の地域説明や健康講座・健康イベント等の具体的な取組みを校区単位あるいはまちづくりセンター単位で実施する。 ・健康ボランティアと東区の健康課題、取組み目標を共有し、地域イベント等で協働での健康づくり啓発活動を実施する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：保健子ども課	整理番号：1-1-4	主な取組：子育て支援ネットワーク連絡会
事業概要	区や校区単位の子育て支援ネットワーク活動の活性化を図り、安全・安心して子育てができるまちづくりをさらに推進することを目的に、以下の①～⑤の内容について協議し、実施、評価する。 ①「運営委員会」の活動の充実 ②「活動事例集」を活用した校区ネットワークの活動の活性化 ③防災の視点を入れた「あつまっふる改定版」の作成 ④「防災リーフレット」を活用した防災教育の普及啓発（自助、共助力の強化） ⑤ワークショップ結果を元に運営委員会で子育て中の保護者と協働でできる取組について協議	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・校区ネットワーク間の連携と活動活性化をめざし、運営委員会を年4回、連絡会（研修会）を年1回実施 ・子育て支援ネットワーク活動事例集の作成 ・子育て世代をターゲットにした防災講座を企画、実施（10校区実施） 【平成30年度の取組状況】 ・運営委員会を年4回実施予定（2回済）、連絡会（研修会）1回実施予定（平成30年12月頃） ・前年度に作成した「活動事例集」の活用（17校区のネットワーク会議で協議中） ・子育て世代をターゲットにした防災講座（2校区実施、他3校区で予定） ・子育て中の保護者及び子育てネット運営委員会メンバーを対象としたワークショップ（8月10日、9月3日予定） ・あつまっふるアンケート調査（保護者・赤ちゃん訪問支援員各500人程度に7月調査票送付済、8～9月に集計・分析予定）	
課題	・子育て支援ネットワークの活動状況は校区差が大きく、各ネットワークの活性化を図るとともに区全体で推進する体制が必要。 ・子育て中の保護者を取り込んだ子育て支援の仕組みづくりが不十分。	
今後の展開・方針	・子育て支援ネットワーク運営委員会、連絡会の継続 - 食糧費5千円（お茶2L@330円×15本（5回）＝4,950円）、消耗品一式6千円（模造紙・付箋等） ・防災の視点を入れた「あつまっふる改定版」の作成、作成に伴うワークショップの実施 - 委託費 500千円（18校区分の原版製作及び印刷） - 報償費 18千円（@9千円×2回）、食糧費2千円（お茶2L@330円×6本＝1,980円） ・防災講座の継続 - 報償費45千円（@9千円×5回分） - 需用費52千円（パーソナルカード等：@260円（税込）×40個×5回）	
まちづくり推進事業との関連	有 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：保健子ども課	整理番号： 1-1-5	主な取組： 子どもの食育推進ネットワーク
事業概要	ネットワークメンバーが連携した食育活動を通して、災害に強い地域づくりを推進する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・子どもの食育推進ネットワーク研修会 回数 6回、参加者数 194人 ・食育活動で使用する、自助啓発資料、食育活動ヒント集、食育レシピ集を作成。 ・食育アンケート調査の実施 ※健康づくり推進課執行事業「熊本市子どもの食育推進ネットワーク東エリア地域研修会」と平行して実施。 【平成30年度の取組状況】 ・子どもの食育推進ネットワーク研修会 回数 1回、参加者数 63人 ・平成29年度に作成した媒体を活用した食育活動の実施(予定)。 (保護者向け料理教室、親子クッキング、食育教室(カミカミ試食) (出前講座、ネットワーク登録団体での啓発) ・食育アンケートの実施	
課題	・H29年度に作成した媒体「食育活動のヒント」を活用し、メンバーによる自主的な地域での食育活動の展開。 ・子どもの食育推進ネットワークの地域での活用により、地域のつながりを強化。 ・メンバーが地域活動を円滑に行うため、活動の継続的な支援。	
今後の展開・方針	・ネットワークメンバーが関係機関と連携して、地域で自主・自立した食育推進活動を展開できるよう、支援する。 ・食育活動を通して健康まちづくりを推進し、災害や非常時に対応できるよう、地域の力を強化する。 ・平成31年度までの3か年の事業実施期間後も、それぞれの地域で自主的に活動を展開できるよう、継続して支援する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名： 福祉課	整理番号： 1-1-6	主な取組： みなし仮設入居者交流会
事業概要	被災者同士や地域住民との交流、および地域行事や支援制度などの情報提供	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 まちづくりセンター管轄校区ごとに3回の交流会開催 参加者 仮設入居者 113人 地域役員 28人 ボランティア等 38人 内容 ・手作りフォトフレーム作成、おやつ作り、ボール体操 他 ・生活再建の情報説明及び個別相談会 ※開催後のアンケートで、参加者の90%が交流及び内容に満足された。 【平成30年度の取組状況】 東部公民館(10月)、託麻公民館(11月)の2箇所で開催予定	
課題	仮設住宅入居により、新たな地域での生活を余儀なくされた方もおり、地域とのつながりが希薄になりやすい。 被災者同士の情報交換の場がなく、取り残され感を抱きやすい。	
今後の展開・方針	みなし仮設入居者交流会を通じて、被災された方々が健康で生活再建していただくため、地域との交流の機会をつくり、地域になじみ安心して暮らせるよう支援する。 また、個別相談コーナーを併設することにより、被災者の住まい再建の不安を解消する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：まちづくりセンター （福祉課）	整理番号： 1-2-1	主な取組： まちづくり活動表彰（仮称）
事業概要	「自助・共助」「主体性」「自立支援」「組織・世代横断的」などの要素を含む、先駆的な取り組みの発表および表彰。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 （新規事業） 【平成30年度の取組状況】 自助・共助によるまちづくりの意識を醸成するため、まちづくりに向けて先駆的に取り組みが行われている校区・地域・団体の発表および表彰の場を設けるための制度設計を行う。	
課題	どのような視点で評価するのか、どのような形での開催がよいのか（区単位、まちづくりセンター単位）等、実施にあたっての具体的な検討が必要。	
今後の展開・方針	H31年度の実施をめざして、東区地域包括ケアシステム推進ワーキング会議にて検討を進める。 東区の地域包括ケアシステム構築に関する取り組みの認知度が向上することにより、住民主体のまちづくりを推進する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：まちづくりセンター （福祉課）	整理番号： 1-2-2	主な取組： 多種多様な通いの場づくりの推進
事業概要	高齢者サロンや元気くらぶ、地域の縁がわ、認知症カフェ、公民館講座やご近所の茶飲み会等、集いの場づくりを推進する。	
事業実績と 取組状況	【平成29年度の実績】 高齢者サロン：115（H28年度） 元気くらぶ：4（H30年2月末） 地域の縁がわ：38（H29年9月末） 認知症カフェ：8（H30年2月末） 【平成30年度の取組状況】 元気くらぶ H30.8.1時点 10件活動中 認知症カフェ H30.8.1時点 9件設置	
課題	多様なニーズに対応する、さまざまな形態の通いの場が必要だが、趣味や地域独自の取組等、行政が関与していない団体の実態把握は難しい。また立ち上げに関する相談窓口も不明確。	
今後の展開・方針	社会参加が心身の機能低下を防ぎ、生きがいにつながることを理解し、地域活動への参加促進、通いの場の立ち上げ支援等更なる推進を図る。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号： 1-2-3(2-1-2)	主な取組： 自立支援型地域ケア個別会議
事業概要	自立支援に資するケアマネジメント力向上を目指し、多職種で協議する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ささえりあ（1か所）でH29年8月から月1回、1事例の検討を実施。 【平成30年度の取組状況】 くまもとはつらつプランの策定に伴い、H30年度からは各ささえりあ圏域毎に年6回以上の開催を予定。福祉課も保険者として参加している。主任ケアマネの会地域ケア会議推進部会では9月末に助言者（各種専門職）向けの研修会を予定している。	
課題	介護保険制度に関して、利用しなければ損、サービスありきの認識が根深い。自立支援型の地域ケア会議をつうじて専門職間の自律支援の視点の共有を図ると同時に、住民向けの啓発の強化が必要。	
今後の展開・方針	専門職向け研修会の開催や、会議運営等の後方支援を行う。 また、住民に対する啓発は高齢介護福祉課と連携しながら進める。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名：保健子ども課	整理番号：1-3-1-1(3-1-1)	主な取組：健康まちづくり推進員養成 および 健康まちづくり推進員活動支援
事業概要	平成25年度健康まちづくり養成講座を開始し、平成27年度健康まちづくり推進協議会を設立。より多くの東区住民が自分らしく健康でいられるために活動を行う。 まちづくりの担い手として、認知症、介護予防、健康まちづくり、食生活改善、8020推進等のボランティアを養成する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ○東区健康まちづくり推進員養成事業 ・健康まちづくり推進員養成講座実施(全8回) - 修了者21名(協議会加入者16名) ○東区健康まちづくり推進員活動支援事業 ・健康まちづくり推進員協議会活動支援(定例会5回、打ち合わせ会10回) ・スキルアップ研修(3回) ・校区イベント等における健康づくり活動の企画・実施(延120回、延473人) 【平成30年度の取組状況】 ○東区健康まちづくり推進員養成事業 ・健康まちづくり推進員養成講座実施(H30.7月～H31.2月) - 全8回 参加実人員15名 ○東区健康まちづくり推進員活動支援事業 ・健康まちづくり推進員協議会活動支援(定例会5回、打ち合わせ会7回) ・校区イベント等における健康づくり活動の企画・実施(随時実施中)	
課題	・健康まちづくり推進員について地域内での認知が低く、活動の場が広がらない。 ・健康まちづくり推進員が自信を持って地域で活動できるようスキルアップを図る必要がある。 ・推進員が達成感、充実感を持って活動できるような支援が必要(評価指標の設定)	
今後の展開・方針	・活動の場の拡大を図る ・活動内容の充実と推進員のスキルアップを図る ・他のボランティアと連動した活動を推進する。	
まちづくり推進事業との関連	☒ 有 ・ ☐ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：保健子ども課	整理番号： 1-3-1-2-1 1-3-1-2-2	主な取組： 食生活改善推進養成講座 食生活改善推進員研修
事業概要	食生活を中心とした健康づくり活動を行う食生活改善推進員を養成する。 食生活改善推進員を対象に、健康づくり活動をより効果的に実施するための研修の実施。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・食生活改善推進員養成講座実施 講座6回コース 修了者 15名 ・修了証書交付式及び研修会 修了者 4名参加 ・食生活改善推進員支部研修会 回数 11回、参加者数 487人 ・全体研修会(健康づくり推進課実施) 回数 2回、参加者数 46人 【平成30年度の取組状況】 ・食生活改善推進員養成講座実施 講座6回コース 受講者 12名(7月に3回目終了) ・食生活改善推進員支部研修会 回数(予定) 11回、参加者数 228人(7月末現在) ・全体研修会(健康づくり推進課実施) 回数(予定) 2回、参加者数 34人	
課題	・食生活改善推進員の地域での活用を推進してまちづくりを活性化するために、推進員の活動内容等の認知度を高める。 ・若い世代の食生活改善推進員の養成と協議会への加入促進。	
今後の展開・方針	・次年度においても、熊本市食生活改善推進員養成講座実施要領に基づき、実施する。 ・受講生が募集定員に満たないため、受講生を増やす取り組みとして、食生活改善推進員の活動の周知・広報を行う。 ・次年度においても、熊本市食生活改善推進員の地区組織活動支援実施要領、すこやか食生活改善講習会実施要領に基づき実施する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名：保健子ども課	整理番号： 1-3-1-3-1 1-3-1-3-2	主な取組： 8020推進員育成講座 8020推進員地域活動支援
事業概要	・8020運動の一環として、口の健康づくりに関する歯科口腔保健意識の普及啓発を行う8020推進員を育成する ・育成講座受講後、熊本市8020健康づくりの会に入会した8020推進員の地域活動を支援する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・8020推進員育成講座(全4回)を実施し3名が修了した。 ・8020推進員が小学校におけるフッ化物洗口や子育てサークル、高齢者サロン、地域イベント等において活動できるように、必要な情報を提供し支援を行った。 ⇒活動数 117回 活動推進員数 延466人 啓発対象者数 延12,839人 【平成30年度の取組状況】 ・8020推進員育成講座(全4回)を実施予定 ⇒7名受講中 ・8020推進員の地域活動は継続して実施中。 ⇒活動数46回、活動推進員数 延161人、啓発対象者数 延3,746人(7月末時点)	
課題	・活動する会員が固定されている。 ・8020推進員がいない校区があり、養成講座受講生を増やしていく必要がある。	
今後の展開・方針	・具体的な活動内容について会員に知らせる研修会を開催し、活動できる会員を増やす。 ・全18校区に8020推進員が在籍できるよう、8020推進員がいない校区を中心に育成講座の募集を働きかける。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名:福祉課	1-3-1-4(4-1-1-2) 整理番号:(4-1-2) (4-1-4) (4-4-1)	主な取組: 認知症サポートリーダー養成講座 認知症徘徊模擬訓練実施支援 認知症シンポジウム 認知症サポートブック作成・配布
事業概要	○サポートリーダー養成講座…認知症サポーターを対象に、当事者の視点を重視した啓発活動や、ボランティア活動が実践できる人材を養成する。 ○徘徊模擬訓練実施支援…模擬訓練実行委員会の立ち上げ支援、事前研修会の開催。 ○シンポジウム…講演および認知症の当事者や家族、地域住民、専門職との協働によるシンポジウム。 ○サポートブック作成・配布…認知症カフェや相談窓口等を紹介するパンフレットの作成・配布。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・認知症サポートリーダ養成講座実施 6回連続講座、25名のリーダーを養成 ・認知症徘徊声かけ訓練 長嶺校区 200名参加 託麻西校区2・5町内 110名参加 【平成30年度の取組状況】 ・認知症サポートリーダ養成講座実施 5回連続講座 参加50名 ・認知症徘徊声かけ訓練 長嶺校区、託麻西校区3・4町内、尾ノ上校区、託麻北校区にて実施予定 ・認知症サポートブック作成・配布 1,500部	
課題	○サポートリーダー養成講座…養成後、地域活動につながない(何をしてよいかわからない、自信がない) ○徘徊模擬訓練実施支援…参加者数の増加(少人数グループでの実施も含め)、世代の広がり事業所の協力が必要 ○シンポジウム…行政主導である ○サポートブック作成・配布…当事者や家族の視点の不足、より広範囲な周知・啓発が必要	
今後の展開・方針	○サポートリーダー養成講座…講座の継続。修了生の交流と組織化、およびスキルアップに向けた学習(実践)の機会を支援し、地域活動の推進に努める。 ○声かけ訓練(呼称変更)…地域の主体性を重視した取組を推進。3団体の新規実施を目標に広める。 ○シンポジウム…当事者と家族の視点を踏まえたものをささえりあや事業所、認知症サポートリーダーなどとともに企画・運営し、一般市民への理解の浸透をめざす。 ○サポートブック作成…当事者や家族の会等からの意見聴取し、定期的 に内容を更新し 増加する 新たな設置場所の検討	
まちづくり推進事業との関連	有 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名:福祉課	整理番号: 1-3-1-5	主な取組: 介護予防サポーター養成講座
事業概要	高齢者の特性や介護予防活動に必要な知識とスキルをもつ人材の育成と、継続的な活動のための支援を行う。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 平成29年度は24名養成(5区中最多)。前年度までの終了生、およびサロン支援者の実践研修を兼ねた交流会を2回開催。サポーター同士のネットワークづくりとスキルアップの機会とした。 【平成30年度の取組状況】 くまもと元気くらの測定の際のサポートスタッフとして、各団体の希望に応じて紹介。 サポーターの活躍の場の拡充と、講座終了後に活動をしていない潜在サポーターに対する働きかけについて、ささえりあの保健師と地域リハビリテーション広域支援センターで構成する「介護予防の会」で検討中。	
課題	サポーターの活躍の場の拡充。	
今後の展開・方針	養成と活動の場の拡充については今後も介護予防の会で検討を進め、その内容はサポーター募集や修了生の交流会に反映し、サポーターの地域活動の推進をめざす。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】

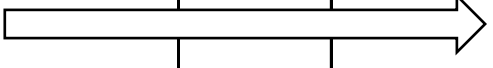
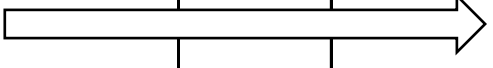
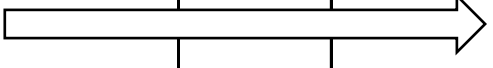
「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：保健子ども課	整理番号：1- 3 -2	主な取組： ボランティア交流会
事業概要	各ボランティアが一堂に会し、情報共有や活動の場の拡大について検討する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 - 健康づくりボランティア連携会議（H30.3.29実施） 食生活改善推進員協議会東支部長、8020健康づくりの会東支部長、東区健康まちづくり推進員協議会の役員と保健子ども課職員により今後の組織活動の方向性について協議。 【平成30年度の取組状況】 - 健康づくりボランティア連携会議 2回実施予定 H30年度第1回連携会議を9月6日に実施予定。東区民まつりにおける健康ブース活動時の連携と地域活動における協力体制構築に向けた協議を実施予定。	
課題	保健子ども課の食生活改善推進員、8020推進員、健康まちづくり推進員の3ボランティア同士の交流も始まったばかりであり、他課ボランティアとの交流はなく、区のボランティアとして連帯感をもって連携した活動ができるようになるまで、当面支援の強化が必要。	
今後の展開・方針	- ボランティア交流会の定例化 - 保健子ども課ボランティア以外のボランティア（介護予防サポーター、認知症サポートリーダー、防犯、交通のボランティア等）との交流拡大 - ボランティアグループの協働による地域活動の実施 - 校区ごとのボランティアのグループ化を進める	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】

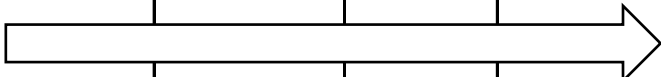
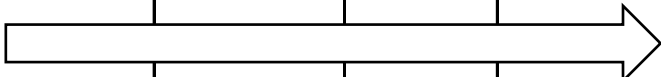
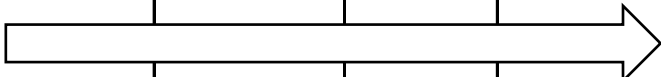
「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課 名:福祉課	整理番号: 1-3-3(3-1-2)	主な取組: ボランティア活動体制整備
事業概要	養成の推進や登録制度の整備、各ボランティア組織間の連携強化、地域に根ざした活動の仕組みづくり等について検討する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 (H30年度 新規事業) 【平成30年度の取組状況】 ワーキング会議ボランティア部会にて、現状の把握、地域に根ざした活動の仕組みづくり等について協議中。	
課題	行政が養成したボランティアは行政の事業に関連する活動が主で、地域活動にむすびついていない。 また地域独自の取組や団体の把握ができていない。	
今後の展開・方針	地域での健康づくり活動や見守り、生活支援の充実をめざし、ワーキングのボランティア部会を中心に、活動の場の広がりや若い世代の取り込み、ボランティア交流会の開催等について検討を進める。	
まちづくり推進事業との関連	有・ ☒ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況												
課名 総務企画課、まちづくりセンター、福祉課、保健子ども課、市社協東区事務所、自治協等地域組織、障がい者相談支援センター、各地域コミュニティセンター、市立小・中学校、県立大学・高校・特別支援学校	整理番号：1-4-1	主な取組：校区防災連絡会・避難所運営委員会										
事業概要	本市地域防災計画（H29.5月改定）において、避難所等は地域主体で運営することとなったが、その運営母体となる校区防災連絡会及び避難所運営委員会を設立し、地域防災力向上を図る。											
目 標	平成30年度内に、東区内18校区全てにおいて校区防災連絡会及び校区内の指定避難所ごとに避難所運営委員会を立ち上げる。											
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 1 校区防災連絡会 4／18校区設置済み （若葉・東町・健軍・桜木） 2 避難所運営委員会 4／35箇所設置済み （若葉小・東町小・健軍小・湖東中） 【平成30年度の取組状況】 ※H30.8.8現在 1 校区防災連絡会 7／18校区設置済み （若葉・東町・健軍・桜木・西原・秋津・画図） 2 避難所運営委員会 6／35箇所設置済み （若葉小・東町小・健軍小・湖東中・画図小・環境総合センター） 校区防災連絡会は、今年度内の全校区設置に取り組む。 避難所運営委員会においても、未設置の避難所に対して積極的に取り組む。											
課題	現状として、自主防災クラブ員と自治会員を兼務している等、地域の役職を兼務している住民が多く、地域の担い手不足が課題である。											
今後の展開・方針	自主防災クラブ員と自治会員を兼務している等、地域の役職を兼務している住民が多いため、貴重な社会資源である既存の自主防災クラブと新たに作る校区防災連絡会・避難所運営委員会との関係を丁寧に説明し、地元住民の理解を得ながら設置する。 校区防災連絡会の全校区設置・避難所運営委員会の全箇所設置に向け、今後も積極的に取り組んでいく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○18校区全て、連絡会・委員会を設立</td><td>適宜、会議実施</td><td colspan="3"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 校区防災連絡会の全校区設置（未設置11校区）		H30	H31	H32	...	H35	○18校区全て、連絡会・委員会を設立	適宜、会議実施			
H30	H31	H32	...	H35								
○18校区全て、連絡会・委員会を設立	適宜、会議実施											
H30まちづくり予算措置状況	有・ 											

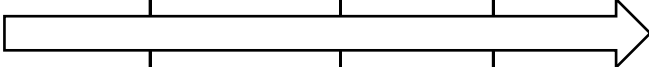
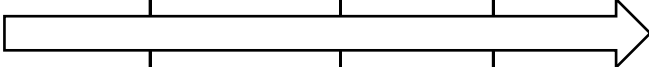
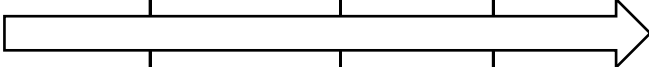
【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課名 総務企画課、東消防署、自治協等地域組織	整理番号：1-4-2	主な取組： 地域防災合同訓練										
事業概要	地域住民が主体となり区対策部や消防署等との連携により、各校区単位で防災訓練を実施する。											
目 標	大規模震災等に備え、地域の防災力強化を図る。											
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 突発的かつ大規模な災害（震度6弱以上の地震等）が発生したとの想定で、校区全体で訓練を計画し、地域と行政（東区役所・東消防署）が合同で訓練を行なった。 校区防災訓練を8校区実施。 【平成30年度の取組状況】※H30.8.8現在 校区防災訓練を2校区実施。 未実施校区においても、新たに策定された本市の地域防災計画に基づき、大規模災害にも円滑に対応できるよう防災訓練を実施予定。											
課題	今まで実施された訓練において、地域住民の防災意識の高揚等に一定の効果はあったものの、熊本地震を経験したことにより、避難所運営等を含めた実践に即した訓練内容の見直しが必要である。											
今後の展開・方針	校区防災訓練を隔年毎に実施しながら、東区としては1年に9校区ずつ実施し2ヵ年で18校区実施する。 また、校区防災訓練を実施しない年は、町内単位の訓練を地元で企画・立案・運営し、更に地域防災力の向上を図る。 今後も、地域防災力向上と安全で安心なまちづくりの実現に向け、今後も積極的に取り組んでいく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○各校区で訓練実施</td><td colspan="4"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 校区防災訓練の9校区（全校区1／2）実施		H30	H31	H32	...	H35	○各校区で訓練実施				
H30	H31	H32	...	H35								
○各校区で訓練実施												
H30まちづくり予算措置状況	有・ 											

【様式①】

「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名 総務企画課、まちづくりセンター、福祉課、保健子ども課、市社協東区事務所、自治協等地域組織、障がい者相談支援センター、特別支援学校	整理番号：1-4-3	主な取組：福祉避難所および福祉子ども避難所の周知と設置・運営訓練										
事業概要	住民への周知とともに、訓練をととして当事者、地域組織、関係機関の連携強化を図る。											
目 標	福祉避難所の認知度の向上とスムーズな設置・運営のための連携体制の強化。											
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 H29.4.16震災対処実動訓練において、地域と行政（東区役所・健康福祉局）が連携し、尾ノ上校区で実施。 【平成30年度の取組状況】 H30.4.15震災対処実動訓練において、地域、福祉避難所（ハーモニー）・福祉子ども避難所（県立盲学校）、（東区役所・健康福祉局）が連携し、若葉校区で実施。 同訓練には、障がい児と家族が参加した。											
課題	東区は2校区（尾ノ上、若葉）で福祉避難所連携を実施し一定の効果はあったものの、未実施の校区については住民への広報や周知が徹底されていない。											
今後の展開・方針	各種会合や会議の場を利用し、自治協議会構成団体等に福祉避難所および福祉子ども避難所の趣旨と訓練の必要性を説明する。 要配慮者にも優しい避難所づくり・避難所運営のため、今後も積極的に取り組んでいく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○広報・訓練の実施</td><td colspan="4"></td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 全校区に周知し校区防災訓練で福祉避難所連携訓練を実施		H30	H31	H32	...	H35	○広報・訓練の実施				
H30	H31	H32	...	H35								
○広報・訓練の実施												
H30まちづくり予算措置状況	有・ （無）											

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名： 福祉課	整理番号： 1-4-4	主な取組： 東区被災者推進会議
事業概要	熊本地震の被災者が地域で安心して暮らせるよう、被災者の抱える課題の解決に向け、東区が一体となって取り組む。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 平成30年度新規事業のため実績なし 【平成30年度の取組状況】 第1回東区被災者推進会議 （4月12日開催） 出席者：東区長以下区内の全部長・課長及びささえあいセンター、障がい者支援センター、熊本市社会福祉協議会 議 事：被災者の現況・課題及び各種支援制度等について情報の共有などを行う。 ※平成30年8月27日に第2回東区被災者推進会議を開催予定	
課題	恒久的住まいへの転居後は、被災者としての支援の対象からはずれ、情報が届きにくくなることでの不安や、新しい住宅や周囲との環境になじめないなど孤立する者がでてくる可能性がある。 災害公営住宅をはじめとする新たな居住先での地域コミュニティの再構築の課題。	
今後の展開・方針	被災者の恒久的な住まいの移行支援だけでなく、恒久的住まいに移行後も、まちづくり事業や保健福祉事業、地域組織活動による支援（地域包括ケアシステム）により、それぞれの地域において「おたがいさま」の心で支え合い、地域で安心して豊かに暮らし続けることのできるよう、東区が一体となった支援を行う。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：保健子ども課	整理番号： 1 - 5 - 1	主な取組： 東区まちづくりシンポジウム
事業概要	住民が住みなれた地域でいきいきと住み続けることができるまちづくりを目指し、市民参画と協働により実施している地域の活動について、まちづくりシンポジウム等において報告するとともに、先駆的事例の紹介、講演等を通して地域包括ケアシステム推進に寄与する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 テーマ：「情熱東区～未来を創る地域の力～」 目的：健康やつながりをテーマに住民主体のまちづくりを実践している事例の報告や地域包括ケア推進に関する講演を行い、市民参画と協働による自主、自立のまちづくりを推進する。 開催日：平成30年2月4日 参加者数：256名（校区自治協、民児協、社協、ボランティア、医療機関等） 【平成30年度の取組状況】 テーマ：ボランティア組織間の連携強化と地域に根ざした活動の推進 目的：校区単位または区全体でボランティアがグループ化されることで、より地域に根ざしたボランティア活動の拡大と市民参画と協働による自主・自立のまちづくりを推進する。 開催予定：平成31年1月～2月	
課題	・区のまちづくりを関係各課が一丸となって取り組むことについて職員が共通認識をもつ。 ・次年度以降のシンポジウムの開催について、方針の協議を早期に行う必要がある。	
今後の展開・方針	・まちづくりに関するさまざまな視点からの活動報告や講演を通して、自主・自立のまちづくりの推進を図る。 ・東区関係各課のプロジェクトチームによる企画・運営 ・まちづくりセンター単位でのシンポジウムの開催	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」アクションプラン推進状況

課名 総務企画課 まちづくりセンター、 福祉課、保健子ども課	整理番号：1-5-2	主な取組： 市政だよりやSNSの活用												
事業概要	市政だよりや東区ホームページ、フェイスブック、LINE等を活用し、地域の取り組みの紹介や啓発を行う。													
目 標	地域活動に関心を持つ住民の増加。啓発情報がより多くの住民の元に届く。													
事業実績と 取組状況	【平成29年度の実績】 民間広告媒体(熊日すぱいす)を活用し、まちづくりセンターの活動や地域活動情報を提供した。 東区ホームページやフェイスブックに各課の活動状況を掲載し区民へ情報提供を行った。 【平成30年度の取組状況】 H29年度に引き続き民間広告媒体(熊日すぱいす)を活用し、まちづくりセンターの活動や地域活動情報を提供する。 東区ホームページにフェイスブックの記事をミラーリングしホームページでもフェイスブックの記事が閲覧できるよう変更を行った。また、LINEバナーを貼り付けホームページから熊本市LINEへアクセスできるよう変更を行った。 また、区内のSNS関連担当者と話し合い、的確でタイムリーな情報発信のやり方等について整理している。													
課題	SNS(フェイスブック、LINE)に関する熊本市のアカウントについて、市民へ周知が徹底されていないことから、SNS(フェイスブック、LINE)で情報発信しても効果が低い。													
今後の展開・方針	比較的知名度の高い市政だよりや東区ホームページを利用し、SNS(フェイスブック、LINE)に関する熊本市のアカウントについて広報を行う。 今後も、市政だよりやSNSにより、的確でタイムリーな情報発信を継続していく。 【スケジュール】 <table><tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>...</td><td>H35</td></tr><tr><td>○現事業の継続</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td><td>⇒</td><td>○評価 ○方針の見直し</td></tr></table> 【平成30年度到達目標】 最新情報掲載更新毎月1回以上を継続				H30	H31	H32	...	H35	○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し
H30	H31	H32	...	H35										
○現事業の継続	⇒	○評価 ○方針の見直し	⇒	○評価 ○方針の見直し										
H30まちづくり予算措置状況	有 ・ (無)													

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名:福祉課 (ささえりあ、 障がい者相談支援セン ター)	整理番号: 2-1-1	主な取組: 専門職研修、連携強化
事業概要	職種・事業所間で、情報共有や研修を実施。	
事業実績 と 取組状況	【平成29年度の実績】 ささえりあ圏域毎や分野毎に研修会を実施。 【平成30年度の取組状況】 職種あるいは業種別に連絡会を立ち上げ定期的な情報共有、課題検討を 進めている。また、今年度開始された自立支援型地域ケア会議の研修や異 職種交流等圏域を超えた取組も行われている。	
課題	異業種間の連携、住民との連携の強化。 会場借用の難しさ(費用面、大人数収容できる会場の確保)。 会議体の整理(類似する会議が増えている)。	
今後の展開・方針	課題に対する後方支援。専門性の向上とともに、地域との連携を推進す る。	
まちづくり推進事業との関連	有 ☒ 無 ☐	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号： 2-2-1（1-1-1）	主な取組： 日常生活圏域単位での 地域包括ケア推進会議（協議体）
事業概要	校区あるいはささえりあ圏域毎に、地域課題の整理と解決策の検討を行う。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 校区あるいは各ささえりあ圏域毎に、自治会長や民生委員、医療・福祉の専門職などで構成された会議を年1～4回程度開催し、地域での活動状況の共有や課題に関する意見交換を実施。福祉課と一部まちづくりセンターが出席。 【平成30年度の取組状況】 まちづくり担当実務者連絡会を立ち上げ、日頃からの情報共有を図るとともに、協議体を「まちづくりについて住民と継続的に協議する場」と位置付け、まちづくりセンター、保健子ども課、福祉課の三課から出席。地域からも課題の深掘り、具体策の検討を行うために、校区単位で開催する動きが生じている。（健軍校区座談会、託麻北校区民生委員を助けるワークショップ）	
課題	会議の趣旨が委員に浸透していない。 現在の体制では地域課題の深掘りや具体策の検討は難しく、委員の再考や地域の中での当会議の位置付けに関する検討が必要。 また、各課のまちづくり担当実務者の連携が必要。	
今後の展開・方針	○まちづくり担当実務者連絡会の定期開催 ○必要に応じて委員の再考 ○ささえりあの生活支援コーディネーターとともに、協議体の内容について検討し、 ・地域課題の共有 ・地域資源（自治会等の地域活動、サロン等の通いの場、医療機関や事業所等相談窓口）の一覧化 ・生活支援（例：家事援助、移動支援等）の拡充や通いの場の創出など、自主自立のまちづくりを推進する。	
まちづくり推進事業との関連	有 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号： 2-1-2（1-2-3）	主な取組： 自立支援型地域ケア個別会議
事業概要	自立支援に資するケアマネジメント力向上を目指し、多職種で協議する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ささえりあ（1か所）でH29年8月から月1回、1事例の検討を実施。 【平成30年度の取組状況】 くまもとはつらつプランの策定に伴い、H30年度からは各ささえりあ圏域毎に年6回以上の開催を予定。福祉課も保険者として参加している。主任ケアマネの会地域ケア会議推進部会では9月末に助言者（各種専門職）向けの研修会を予定している。	
課題	介護保険制度に関して、利用しなければ損、サービスありきの認識が根深い。自立支援型の地域ケア会議をつうじて専門職間の自律支援の視点の共有を図ると同時に、住民向けの啓発の強化が必要。	
今後の展開・方針	専門職向け研修会の開催や、会議運営等の後方支援を行う。 また、住民に対する啓発は高齢介護福祉課と連携しながら進める。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ （無）	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号：2-2-1（1-1-1）	主な取組：日常生活圏域単位での 地域包括ケア推進会議（協議体）
事業概要	校区あるいはささえりあ圏域毎に、地域課題の整理と解決策の検討を行う。	
事業実績と 取組状況	【平成29年度の実績】 校区あるいは各ささえりあ圏域毎に、自治会長や民生委員、医療・福祉の専門職などで構成された会議を年1～4回程度開催し、地域での活動状況の共有や課題に関する意見交換を実施。福祉課と一部まちづくりセンターが出席。 【平成30年度の取組状況】 まちづくり担当実務者連絡会を立ち上げ、日頃からの情報共有を図るとともに、協議体を「まちづくりについて住民と継続的に協議する場」と位置付け、まちづくりセンター、保健子ども課、福祉課の三課から出席。地域からも課題の深掘り、具体策の検討を行うために、校区単位で開催する動きが生じている。（健軍校区座談会、託麻北校区民生委員を助けるワークショップ）	
課題	会議の趣旨が委員に浸透していない。 現在の体制では地域課題の深掘りや具体策の検討は難しく、委員の再考や地域の中での当会議の位置付けに関する検討が必要。 また、各課のまちづくり担当実務者の連携が必要。	
今後の展開・方針	○まちづくり担当実務者連絡会の定期開催 ○必要に応じて委員の再考 ○ささえりあの生活支援コーディネーターとともに、協議体の内容について検討し、 ・地域課題の共有 ・地域資源（自治会等の地域活動、サロン等の通いの場、医療機関や事業所等相談窓口）の一覧化 ・生活支援（例：家事援助、移動支援等）の拡充や通いの場の創出など、自主自立のまちづくりを推進する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ☒ 無 ☐	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号：2-2-2（1-1-2）	主な取組：課題検討型地域ケア個別会議 および地域ケア会議（校区単位）
事業概要	個別ケースの課題検討・分析を重ねることで、地域に共通した課題を明確にする。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 個別ケースの対応方針に関する検討が主で、地域課題の抽出等を行っていなかった。一部の校区では、社会資源の把握など地域ケア計画の見直し等を行った。 【平成30年度の取組状況】 ささえりあを中心に地域課題の抽出を意識しつつ、個別ケースの検討を実施。抽出した課題は協議体での検討事項に反映する予定。	
課題	これまで感覚的に取り組んできた部分であり、各ささえりあ毎にその手法にも差異がある。今後は手法や進捗、抽出された課題を共有しながら、精度向上が必要。	
今後の展開・方針	個別ケースの課題解決機能の向上とネットワークづくりを推進する。また把握した地域課題は協議体の場で共有、検討を進める流れが定着することをめざす。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名:福祉課	整理番号: 2 - 3 - 1	主な取組: 生活支援コーディネーターの会
事業概要	把握した生活支援と介護予防のニーズや取り組みを共有し、対応を協議する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 月1回実施。ささえりあの生活支援コーディネーターとまちづくりセンター、福祉課にて、地域づくり活動と社会資源に関する情報を共有。 【平成30年度の取組状況】 月1回の会議を継続。住民による生活支援サービスの創出に向け、助け合いの意識の醸成や具体的活動（見守りや配食・会食等）、事業所との連携に関する情報交換と検討を行っている。	
課題	H30年度からまちづくり担当実務者連絡会が開始されたため、今後の区からの参加について、それぞれの会議のすみ分けが必要。	
今後の展開・方針	情報共有と共通する課題の検討を行うことで、必要なサービスの創出やネットワークの構築等、各ささえりあ圏域での取組を推進する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ☒ 無 ☐	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：保健子ども課	整理番号：3-1-1(1-3-1-1)	主な取組：健康まちづくり推進員養成 および 健康まちづくり推進員活動支援
事業概要	平成25年度健康まちづくり養成講座を開始し、平成27年度健康まちづくり推進協議会を設立。より多くの東区住民が自分らしく健康でいられるために活動を行う。 まちづくりの担い手として、認知症、介護予防、健康まちづくり、食生活改善、8020推進等のボランティアを養成する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ○東区健康まちづくり推進員養成事業 ・健康まちづくり推進員養成講座実施(全8回) - 修了者21名(協議会加入者16名) ○東区健康まちづくり推進員活動支援事業 ・健康まちづくり推進員協議会活動支援(定例会5回、打ち合わせ会10回) ・スキルアップ研修(3回) ・校区イベント等における健康づくり活動の企画・実施(延120回、延473人) 【平成30年度の取組状況】 ○東区健康まちづくり推進員養成事業 ・健康まちづくり推進員養成講座実施(H30.7月～H31.2月) - 全8回 参加実人員15名 ○東区健康まちづくり推進員活動支援事業 ・健康まちづくり推進員協議会活動支援(定例会5回、打ち合わせ会7回) ・校区イベント等における健康づくり活動の企画・実施(随時実施中)	
課題	・健康まちづくり推進員について地域内での認知が低く、活動の場が広がらない。 ・健康まちづくり推進員が自信を持って地域で活動できるようスキルアップを図る必要がある。 ・推進員が達成感、充実感を持って活動できるような支援が必要(評価指標の設定)	
今後の展開・方針	・活動の場の拡大を図る ・活動内容の充実と推進員のスキルアップを図る ・他のボランティアと連動した活動を推進する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課	整理番号：3-1-2(1-3-3)	主な取組： ボランティア活動体制整備
事業概要	養成の推進や登録制度の整備、各ボランティア組織間の連携強化、地域に根ざした活動の仕組みづくり等について検討する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 (H30年度 新規事業) 【平成30年度の取組状況】 ワーキング会議ボランティア部会にて、現状の把握、地域に根ざした活動の仕組みづくり等について協議中。	
課題	行政が養成したボランティアは行政の事業に関連する活動が主で、地域活動にむすびついていない。 また地域独自の取組や団体の把握ができていない。	
今後の展開・方針	地域での健康づくり活動や見守り、生活支援の充実をめざし、ワーキングのボランティア部会を中心に、活動の場の広がりや若い世代の取り込み、ボランティア交流会の開催等について検討を進める。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名：保健子ども課	整理番号：3-2-1(3-3-2)	主な取組：生活習慣病予防対策事業 生活習慣病重症化予防
事業概要	生活習慣病予防のための健康教育・健康相談の実施。 食育ネットワークを活用した食育や学校PTAと連携した健康づくり活動。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ○生活習慣病予防対策事業 ・糖尿病予防をテーマに健康づくりイベントを実施(簡易血糖検査実施 6回 ・食育月間、PTAバザー等での栄養相談 9回/665名, その他面接相談 141 - 栄養士による健康教育13回/257名 ・PTAバザー等での歯科健康相談 11回/913名, その他面接相談 7回/10 ・高齢者サロン、子育てサークル等で特定健診受診勧奨等の啓発活動実施 ○生活習慣病重症化予防 ・国保生活習慣病重症化予防フォロー対象者への文書による受診勧奨 4回 ・国保生活習慣病重症化予防フォロー対象者、生保者健診フォロー対象者に対する家庭訪問 延54名 【平成30年度の取組状況】(7月末現在) ○生活習慣病予防対策事業 ・校区(地域)イベントでの健康チェック(簡易血糖検査、血圧測定等)画図(8/11予定), 秋津(11/25予定) ・食育月間等での栄養相談(1回/150名)、その他面接相談 94名 - 生活習慣病予防教室2回開催予定 ・歯たちの健診等での歯科相談(2回/170名) ○生活習慣病重症化予防 ・国保生活習慣病重症化予防のフォロー対象者に対する文書または訪問による受診勧奨の実施(文書発送 4回/89名, 訪問延8名)	
課題	・市では校区単位の健康まちづくりの中での簡易血糖検査の実施を進めているが、ターゲット世代へ実施する機会が少ない。現時点では、個別フォローに留まっており、市として蓄積したデータを元に評価を行い、今後の展開を検討する時期にある。 ・区では、簡易血糖検査を実施しても、データ入力、評価を行う時間が実質とれない。 ・働き盛り世代への糖尿病対策を計画的、戦略的に実施するにあたっては、対象となるフィールド(PTAや事業所等)、マンパワー(データ処理、分析等)の確保が必要である。	
今後の展開・方針	・東区の働き盛り世代の健康課題、取組み方針を明確化するためのデータ処理・分析を実施する。 ・まちづくりセンターと連携し、働き盛り世代をターゲットにした糖尿病予防の健康教育、健康相談を実施する。 ・歯科・栄養・保健の協働による生活習慣病予防事業の企画、実施 ・熊本市の生活習慣病予防フォローアップ基準に基づく、重症化予防の取組みを継続	
まちづくり推進事業との関連	○・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：保健子ども課	整理番号：3-2-2	主な取組： フッ化物洗口事業
事業概要	児童及び生徒の歯と口腔の健康の保持増進を推進するため、小学校及び中学校においてむし歯予防に効果があるフッ化物洗口を行う。 ※フッ化物洗口とは、フッ化物洗口液で1分間ぶくぶくうがいをするむし歯予防法（週1回法）	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・東区管内の小学校 西原小学校1校が実施した（週1回）。 ⇒対象1～3年生 実人数319人/333人中（3月末）、回数 30回 【平成30年度の取組状況】 ・西原小学校は1～3年生で継続実施中（週1回）。 ⇒ 実人数317人/327人中（7月末）、回数 6回 ・2学期から新規に3校（泉ヶ丘・健軍東・若葉）が開始予定（対象1～2年生）となっており、実施に向けての協議を学校や関係団体と行っている。	
課題	平成33年度までに小学1,2年生を対象に週1回法によるフッ化物洗口を全校実施するとの方針が出されたが、学校側の認識が薄く、支援体制も不十分である。	
今後の展開・方針	フッ化物洗口を円滑に実施できるように、今後、学校や関係団体と連携して支援を行う。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名：保健子ども課	整理番号： 3-3-1-1 3-3-1-2	主な取組： フレイル予防、高齢者サロンの活動支援
事業概要	・高齢者サロン等を活用したフレイル予防のための健康教育を実施。 ・地域で行われる高齢者サロンにおいて、高齢者の介護予防、閉じこもり予防、健康増進を支援する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ＜フレイル予防＞ ・栄養・口腔機能向上・運動・社会参加について健康教育 ・健康教育の実施回数(延)：43回 ・健康教育の参加者数(延)：1,166人 ＜高齢者サロンの活動支援＞ ・サロン支援回数(延)：165回 ・サロンの参加者数(延)：3,503人 【平成30年度の取組状況】(7月末現在) ＜フレイル予防＞ ・栄養・口腔機能向上・運動・社会参加について健康教育 ・健康教育の実施回数(延)：13回 ・健康教育の参加者数(延)：291人 ＜高齢者サロンの活動支援＞ ・サロン支援回数(延)：40回 ・サロンの参加者数(延)：788人	
課題	・既存のサロンに参加する人は固定化している。 ・多様な通いの場を地域と一緒に開拓していく必要がある。 ・フレイル予防の普及啓発には、専門職、ボランティアが協力し取り組む必要がある。	
今後の展開・方針	・高齢者サロン等を通じて、低栄養予防や骨粗しょう症予防に対する健康教育を行い、生活機能の維持・向上が図れる住民を増やしていく。 ・高齢者サロン以外で多様な活動の場や居場所づくりが確保されるよう、地域への働きかけを行い、高齢者の社会参加の促進を図る。 ・高齢者の居場所、あるいは心の健康支援につながる活動としてサロンの意義を地域と共有し、ささえりあ、まちづくりセンター、健康ボランティア等と協力し側面から活動を支援する。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課	整理番号： 3－3－1－3	主な取組： くまもと元気くらぶ
事業概要	市が推奨する運動を、週1回以上、継続的に行う住民主体の取り組み。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 活動団体：4団体 参加者数（登録者数）：102名 相談件数：27件 要件に満たない、申請の煩雑さなどを理由に、申請を断念した団体もあった。 【平成30年度の取組状況】 7月末現在、10団体が活動中。 申請の煩雑さなどの課題については、5区で課題の共有を図り、高齢介護福祉課と今後協議を予定。	
課題	申請の煩雑さ。 今後も活動団体が増えると、リハ職の人員不足が懸念されること。 団体によっては「住民主体」の理解を得ることが難しい。	
今後の展開・方針	介護予防サポーター等の活用（啓発・広報、計測等の活動支援）により、より主体的な活動に移行できるように支援する。市政だよりやSNS等を活用し、活動を紹介することで介護予防・自立（自律）意識の浸透と通いの場の増加をめざす。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名：保健子ども課	整理番号：3-3-2(3-2-1)	主な取組：生活習慣病予防対策事業 生活習慣病重症化予防
事業概要	生活習慣病予防のための健康教育・健康相談の実施。 食育ネットワークを活用した食育や学校PTAと連携した健康づくり活動。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ○生活習慣病予防対策事業 ・糖尿病予防をテーマに健康づくりイベントを実施(簡易血糖検査実施 6回 ・食育月間、PTAバザー等での栄養相談 9回/665名, その他面接相談 141 - 栄養士による健康教育13回/257名 ・PTAバザー等での歯科健康相談 11回/913名, その他面接相談 7回/10 ・高齢者サロン、子育てサークル等で特定健診受診勧奨等の啓発活動実施 ○生活習慣病重症化予防 ・国保生活習慣病重症化予防フォロー対象者への文書による受診勧奨 4回 ・国保生活習慣病重症化予防フォロー対象者、生保者健診フォロー対象者に対する家庭訪問 延54名 【平成30年度の取組状況】(7月末現在) ○生活習慣病予防対策事業 ・校区(地域)イベントでの健康チェック(簡易血糖検査、血圧測定等) 画図(8/11予定), 秋津(11/25予定) ・食育月間等での栄養相談(1回/150名)、その他面接相談 94名 - 生活習慣病予防教室2回開催予定 ・歯たちの健診等での歯科相談(2回/170名) ○生活習慣病重症化予防 ・国保生活習慣病重症化予防のフォロー対象者に対する文書または訪問による受診勧奨の実施(文書発送 4回/89名, 訪問延8名)	
課題	・市では校区単位の健康まちづくりの中での簡易血糖検査の実施を進めているが、ターゲット世代へ実施する機会が少ない。現時点では、個別フォローに留まっており、市として蓄積したデータを元に評価を行い、今後の展開を検討する時期にある。 ・区では、簡易血糖検査を実施しても、データ入力、評価を行う時間が実質とれない。 ・働き盛り世代への糖尿病対策を計画的、戦略的に実施するにあたっては、対象となるフィールド(PTAや事業所等)、マンパワー(データ処理、分析等)の確保が必要である。	
今後の展開・方針	・東区の働き盛り世代の健康課題、取組み方針を明確化するためのデータ処理・分析を実施する。 ・まちづくりセンターと連携し、働き盛り世代をターゲットにした糖尿病予防の健康教育、健康相談を実施する。 ・歯科・栄養・保健の協働による生活習慣病予防事業の企画、実施 ・熊本市の生活習慣病予防フォローアップ基準に基づく、重症化予防の取組みを継続	
まちづくり推進事業との関連	○有 ・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課	整理番号：4-1-1-1	主な取組： 認知症サポーター養成講座
事業概要	認知症を理解し、認知症の方と家族を見守り応援する人材の育成。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 養成数：1861名 模擬訓練実施校区の小学校にて講座が開催され、東区では初めて小学生サポーターが誕生。世代の広がりがみられた。 【平成30年度の取組状況】 養成数：587名（7月末現在） 学校での養成講座の開催を図るため、東区管内の市立小中学校長宛に依頼文を発出。また、見守りの拠点づくりとサポーターの存在を広く周知するため、事業所単位で受講した場合にはステッカーを配布し、掲示を依頼している。	
課題	若い世代への啓発の機会が少ないこと。 「働く世代にできる見守り」についての意識の醸成とその拠点の創出。	
今後の展開・方針	若い世代への啓発、養成を推進するため、学校や事業所に向けたPRを継続。市政だよりやSNS等を活用し、地域や事業所での実施状況等を広報することで、住民の関心を惹起し、養成数の増加をめざす。 年5回開催しているキャラバン・メイトの会や年1回の交流会をとおして、様々な課題や情報交換を行っている。より良い養成講座開催をめざし、キャラバンメイトの交流とスキルアップのためのフォローアップ研修会の開催を検討している。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名:福祉課	整理番号: 4-1-1-2、4-1-2 4-1-4 (1-3-1-4) (4-4-1)	主な取組: 認知症サポートリーダー養成講座 認知症徘徊模擬訓練実施支援 認知症シンポジウム 認知症サポートブック作成・配布
事業概要	○サポートリーダー養成講座…認知症サポーターを対象に、当事者の視点を重視した啓発活動や、ボランティア活動が実践できる人材を養成する。 ○徘徊模擬訓練実施支援…模擬訓練実行委員会の立ち上げ支援、事前研修会の開催。 ○シンポジウム…講演および認知症の当事者や家族、地域住民、専門職との協働によるシンポジウム。 ○サポートブック作成・配布…認知症カフェや相談窓口等を紹介するパンフレットの作成・配布。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・認知症サポートリーダー養成講座実施 6回連続講座、25名のリーダーを養成 ・認知症徘徊声かけ訓練 長嶺校区 200名参加 託麻西校区2・5町内 110名参加 【平成30年度の取組状況】 ・認知症サポートリーダー養成講座実施 5回連続講座 参加50名 ・認知症徘徊声かけ訓練 長嶺校区、託麻西校区3・4町内、尾ノ上校区、託麻北校区にて実施予定 ・認知症サポートブック作成・配布 1,500部	
課題	○サポートリーダー養成講座…養成後、地域活動につながっていない(何をしてよいかわからない、自信がない) ○徘徊模擬訓練実施支援…参加者数の増加(少人数グループでの実施も含め)、世代の広がり事業所の協力が必要 ○シンポジウム…行政主導である ○サポートブック作成・配布…当事者や家族の視点の不足、より広範囲な周知・啓発が必要	
今後の展開・方針	○サポートリーダー養成講座…講座の継続。修了生の交流と組織化、およびスキルアップに向けた学習(実践)の機会を支援し、地域活動の推進に努める。 ○声かけ訓練(呼称変更)…地域の主体性を重視した取組を推進。3団体の新規実施を目標に広める。 ○シンポジウム…当事者と家族の視点を踏まえたものをささえりあや事業所、認知症サポートリーダーなどとともに企画・運営し、一般市民への理解の浸透をめざす。 ○サポートブック作成…当事者や家族の会等からの意見聴取し、定期的な内容更新の検討	
まちづくり推進事業との関連	有 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課	整理番号：4-2-1-1	主な取組： 認知症サポート医連携推進
事業概要	連携の推進役となるサポート医間の連携を強化し、かかりつけ医等との連携体制について検討する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 （新規事業） 【平成30年度の取組状況】 核となるサポート医との協議を検討中。 （H30年度作成の認知症サポートブックに東区管内のサポート医・専門医療機関を掲載）	
課題	サポート医の認知度が低い。 かかりつけ医からサポート医への紹介、相談が少ない。	
今後の展開・方針	発症初期の経過観察や専門医受診までの期間をサポートする体制づくりをめざし、平成31年度の始動を目処に、検討を進める。	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ ☒ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名：福祉課（ささえりあ）	整理番号： 4-2-1-2	主な取組： 認知症カフェ連絡会
事業概要	認知症カフェの企画・運営等に関する情報共有。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 東区管内にあるカフェの運営者が集まり隔月で実施。カフェの企画・運営等に関する情報交換や勉強会、認知症サポートブックに関する意見交換を行った。 【平成30年度の取組状況】 隔月の実施を継続。 認知症特別講演の講師として認知症カフェの第一人者を招き、認知症カフェに関する周知を行った。 （H30年度作成の認知症サポートブックに東区管内の認知症カフェを掲載）	
課題	目的や内容が周囲に伝わっていない可能性がある。 スタッフのスキルアップ。	
今後の展開・方針	市政だよりやSNSの活用、および認知症サポートブックの配布により、カフェの認知度を高めることをめざす。 利用者を増やすための仕組みについて、検討中。 認知症になっても社会とのつながりを保てるよう、カフェが当事者と家族にとっての居場所や活躍の場になることをめざす。	
まちづくり推進事業との関連	有 ☒ 無 ☐	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名:福祉課	整理番号: 4-2-2	主な取組: 認知症初期集中支援チームの周知、連携強化
事業概要	認知症の方(疑いを含む)や家族の受診支援等初期の支援を集中的に(おおむね6ヶ月)行う。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 (新規事業) 【平成30年度の取組状況】 地域包括ケア推進室と協議。広く市民に周知する性質のものではないとの回答を得た。	
課題	相談の多くは比較的進行した状況で、本人の安全や周囲への影響が大きく、受診に結びつけるまでに時間を要する事例が多い。	
今後の展開・方針	早期の相談支援体制の充実が目的であるため、推進方針4-2-1-1認知症サポート医連携推進と併せて、かかりつけ医とサポート医、専門医の連携強化を進める。	
まちづくり推進事業との関連	有・ 無	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名:福祉課	整理番号: 4-2-3	主な取組: 認知症高齢者等見守りネットワークの体制整備
事業概要	本人や家族の同意を得て、情報を関係機関で共有し、行方不明時の連絡体制を整える。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 (新規事業) 【平成30年度の取組状況】 1層に提言。地域包括ケア推進室と県警本部とで協議中。	
課題	現状としては、行方不明になった後、家族の同意を得て情報共有を開始するため、本人の安全確保に時間を要する。また警察によって保護された方の氏名等が不明な場合の対応について、明確になっていない。	
今後の展開・方針	協議等がまとまれば、周知に努め、見守り強化の推進を図る。	
まちづくり推進事業との関連	有 ☒ 無 ☐	

【様式①】

「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況

課 名:福祉課	整理番号: 4-3-1	主な取組: 災害時要援護者支援制度の周知
事業概要	災害発生時に自力で避難する事が困難な方等を地域ぐるみで支援する。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・健康福祉政策課より H29年12月に14,280人(市全域)の方に利用勧奨通知を送付。 H30年3月15日現在で約1,400人(市全域)から申請書を受付。 【平成30年度の取組状況】 ・平成29年度同様、利用勧奨通知を送付する。	
課題	制度の登録までに日数がかかる(約3～4ヶ月)こと。	
今後の展開・方針	○分かり易い制度説明に努める。 ○利用勧奨通知を送付するとともに、民生委員や市社会福祉協議会、自治協等地域組織をとおして利用勧奨を促す。	
まちづくり推進事業との関連	有・ ☒ 無	

【様式①】 「東区ささえあいプラン」 アクションプラン推進状況		
課 名:福祉課	4-4-1 (1-3-1-4) 整理番号: (4-1-1-2) (4-1-2) (4-1-4)	主な取組: 認知症サポートリーダー養成講座 認知症徘徊模擬訓練実施支援 認知症シンポジウム 認知症サポートブック作成・配布
事業概要	○サポートリーダー養成講座…認知症サポーターを対象に、当事者の視点を重視した啓発活動や、ボランティア活動が実践できる人材を養成する。 ○徘徊模擬訓練実施支援…模擬訓練実行委員会の立ち上げ支援、事前研修会の開催。 ○シンポジウム…講演および認知症の当事者や家族、地域住民、専門職との協働によるシンポジウム。 ○サポートブック作成・配布…認知症カフェや相談窓口等を紹介するパンフレットの作成・配布。	
事業実績と取組状況	【平成29年度の実績】 ・認知症サポートリーダ養成講座実施 6回連続講座 、25名のリーダーを養成 ・認知症徘徊声かけ訓練 長嶺校区 200名参加 託麻西校区2・5町内 110名参加 【平成30年度の取組状況】 ・認知症サポートリーダ養成講座実施 5回連続講座 参加50名 ・認知症徘徊声かけ訓練 長嶺校区、託麻西校区3・4町内、尾ノ上校区、託麻北校区にて実施予定 ・認知症サポートブック作成・配布 1,500部	
課題	○サポートリーダー養成講座…養成後、地域活動につながない(何をしてよいかわからない、自信がない) ○徘徊模擬訓練実施支援…参加者数の増加(少人数グループでの実施も含め)、世代の広がり事業所の協力が必要 ○シンポジウム…行政主導である ○サポートブック作成・配布…当事者や家族の視点の不足、より広範囲な周知・啓発が必要	
今後の展開・方針	○サポートリーダー養成講座…講座の継続。修了生の交流と組織化、およびスキルアップに向けた学習(実践)の機会を支援し、地域活動の推進に努める。 ○声かけ訓練(呼称変更)…地域の主体性を重視した取組を推進。3団体の新規実施を目標に広める。 ○シンポジウム…当事者と家族の視点を踏まえたものをささえりあや事業所、認知症サポートリーダーなどとともに企画・運営し、一般市民への理解の浸透をめざす。 ○サポートブック作成…当事者や家族の会等からの意見聴取し、定期的	
まちづくり推進事業との関連	有 ・ 無	